

(様式第 13 号)

令和 6 年度みやぎ環境交付金事業（計画・実績）概要書

市町村名	仙台市		
事業名	定禅寺通等食品リサイクル推進モデル事業		
<事業目的>			
令和 3 年度に策定した仙台市一般廃棄物処理基本計画では、「杜の都の資源」を次世代へ、持続可能な資源循環都市をめざして」を一般廃棄物処理に関する基本的な考え方とし、各般の施策を展開することとしており、「発生抑制を中心とした 3 R の推進」においては、「食品ロスの削減、生ごみの減量・リサイクル」の推進に重点的に取り組むこととしている。		二酸化炭素削減効果	27, 502kg-CO ₂
		その他の効果	下記のとおり
現在、食品廃棄物のリサイクルは、比較的大規模な民間事業者において行われているが、分別作業が負担となること、可燃ごみと比較してリサイクル費用が高額になることなどから、中小の飲食店では普及していない状況である。 定禅寺通エリアでは、にぎわいの創出・活性化に向け官民連携で取り組んでおり、その一環としてエリア内の食品廃棄物や剪定枝といったバイオマス資源を最大限活用することで、サステナブルなまちづくりを進め、エリアのブランド価値向上を図ることとしている。当該エリアにおいて、食品リサイクルのモデル事業を実施し、中小の飲食店においても取り組み可能な食品リサイクルのスキームを構築して、環境的価値による都市の魅力向上を図る。			
<事業内容>			
令和 6 年 6 月から令和 7 年 1 月に、定禅寺通周辺エリアの飲食店等 38 店舗及び仙台三越を対象に食品リサイクルのモデル事業を実施。 【分別・排出・収集・リサイクル方法】 ・飲食店等では食品廃棄物を専用袋に分別 ・食品廃棄物が入った専用袋は、ごみ散乱防止のため、蓋付の専用容器で排出 ・収集事業者は専用車両で収集運搬 ・収集した食品廃棄物を微生物発酵させて得られたバイオガスにより発電し、発酵後の残渣を肥料化 【その他の効果】			



(1) ごみ削減効果：120 t

(2) リサイクル

①発電量（計算値）：53.4MWh

一般家庭の約12世帯分の年間使用電力量相当

②肥料製造量（計算値）：18 t

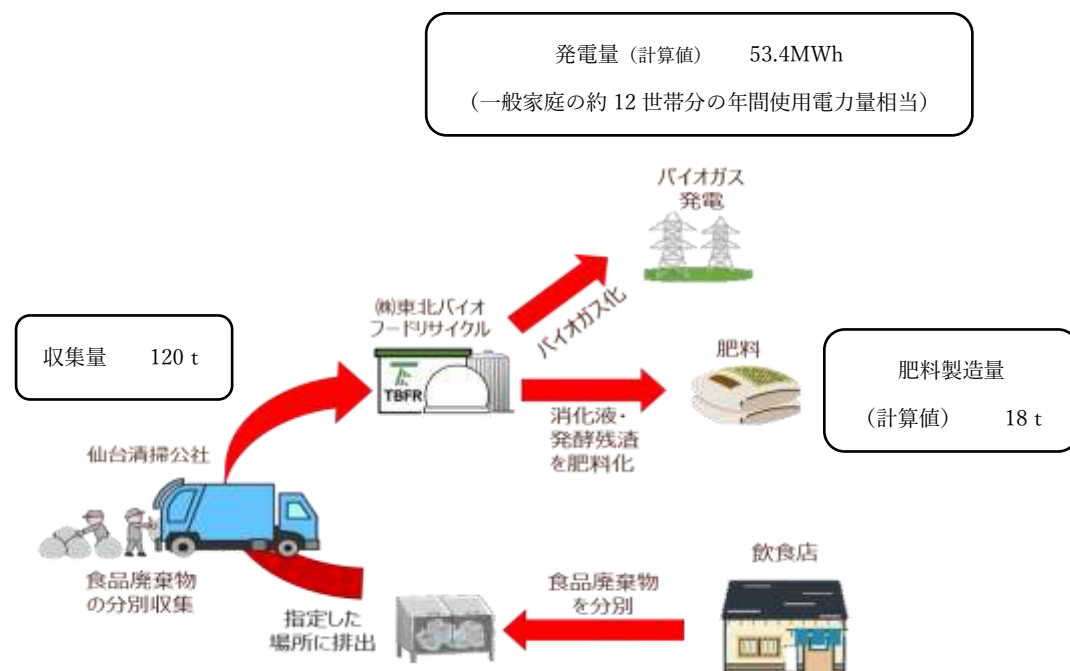
(3) 共同事業者

①収集運搬：協業組合仙台清掃公社

②リサイクル：株式会社東北バイオフードリサイクル

【啓発】

ステッカーや参加店舗のガイド等を作製し、市民に事業内容や参加店舗を広く周知



<その他>

○令和7年度モデル事業における検討事項

- ・食品廃棄物の排出場所をビル等の敷地外とした場合の設置場所や排出時のルール等
- ・排出容器の種類及び設置容器の決定方法
- ・収集運搬費用の削減方法
- ・可燃ごみ減量の方法
- ・食品リサイクルのインセンティブ
- ・ヒアリングの実施方法及び内容